

生物牙膏殺菌實驗

一般財団法人
日本食品分析センター
東京都渋谷区元町1-52番1号



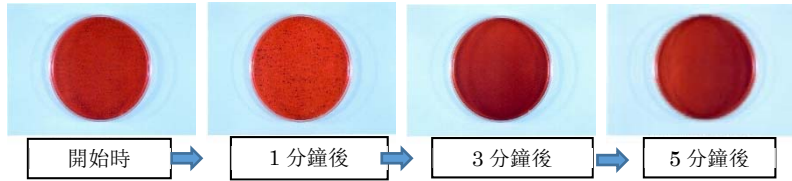
第 16000977001-0201 号 page 3/10

表-1 試料の生菌数測定結果

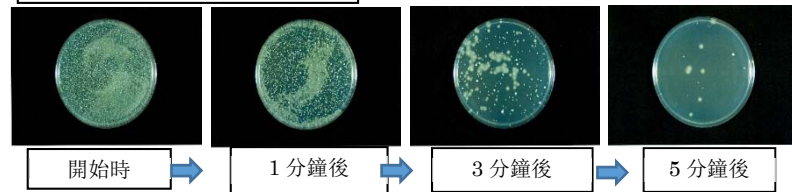
試験前	対象	濃度	生菌数 (cfu)			
			開始時*	1分後	3分後	5分後
ジンジバリス菌	検体	2倍希釈	2.6×10 ⁷	8.1×10 ⁶	<100	<100
	対照	***	2.6×10 ⁷	2.6×10 ⁷	1.7×10 ⁷	1.8×10 ⁷
カンジダ	検体	2倍希釈	3.7×10 ⁵	7.1×10 ⁴	3.2×10 ³	1.7×10 ²
	対照	***	3.7×10 ⁵	—	—	5.4×10 ⁴

—: 実施せず
対照: 精製水
保存温度: 室温(カンジダは30℃)
<100: 検出せず
* 菌液接種直後の対照の生菌数を測定し、開始時とした。

牙龈細菌 (歯周病菌)



念珠菌 (真菌)



“殺菌實驗”結果 將本產品 2 倍稀釋後使用

- 牙龈細菌 (歯周病菌) 1 分鐘後減少至 5%, 3 分鐘後無法檢出
- 念珠菌 (真菌) 1 分鐘後減少至 20%, 3 分鐘後減少至 1%, 5 分鐘後減少至約 0.05%

生物牙膏抗菌實驗



第 16000977001-0101 号 page 4/7

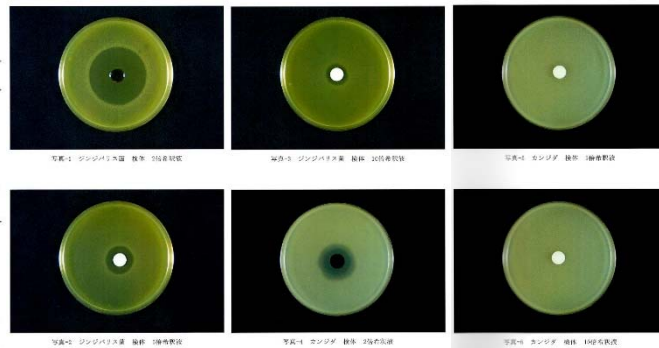
4 試驗結果

結果を表-3に示した。また、培養終了時の平板培地の一例を写真-1~6に示した。

表-3 試験片の試験菌に対するハロー(増殖阻止帯)形成の有無

試験菌	菌濃度 (/mL)	対象	濃度	ハローの有無*
ジンジバリス菌	4.6×10 ⁶	検体	2倍希釈 ¹⁾	+ (16.2 mm)
			5倍希釈 ²⁾	+ (4.8 mm)
			10倍希釈 ²⁾	+ (2.0 mm)
		対照 ²⁾	***	—
カンジダ	7.3×10 ⁶	検体	2倍希釈 ¹⁾	+ (2.5 mm)
			5倍希釈 ²⁾	—
			10倍希釈 ²⁾	—
		対照 ²⁾	***	—

+ : ハローを認める
— : ハローを認めず



“抗菌實驗”結果 (試驗時長 2 天)

- 牙龈細菌 (歯周病菌) 10 倍稀釋效果得到認定
- 念珠菌 (菌類) 2 倍稀釋效果得到認定



『A 型流行性感冒病毒』の失活實驗

實驗編號 : AVSAVSAVS-047-160205 (2) (編輯)

實驗目的

本實驗的目的是檢測實驗委託者提供的“刷牙牙膏”對病毒的失活效果。對象病毒選定為“A 型流行性感冒病毒”。

被験物質: 齒磨きペーストタイプ

対象ウイルス	処理時間	ウイルス不活化効率 (単位:%)
A型インフルエンザウイルス (株名:A/WSN/33, H1N1)	5 min.	> 99.98
	30 min.	> 99.91

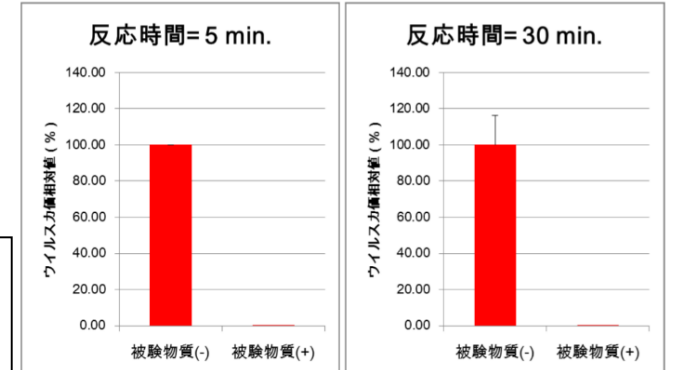


Fig.1: インフルエンザウイルス不活化試験結果 ~ グラフ ~
グラフ縦軸は各反応時間における被験物質非添加群 (陰性対照群) の感染性ウイルスカラムを 100%とした相対値を示している。グラフのエラーバーは標準偏差を示しており、試験は N=2 (duplicate) で実施した。

實驗結果

在反應時長為 5 分鐘及 30 分鐘的情況下, 可以確認檢測物質“生物牙膏”有使 A 型流行性感冒病毒的感染病毒失活的效果

※刷牙牙膏使用的是“生物牙膏”

『諾如病毒 (諾瓦克病毒)』の失活實驗

實驗編號 : AVSAVSAVS-047-160205 (2) (編輯)

實驗目的

本實驗的目的是檢測實驗委託者提供的“刷牙牙膏”對病毒的失活效果。對象病毒選定為“諾如病毒”。

被験物質: 齒磨きペーストタイプ

対象ウイルス	処理時間	ウイルス不活化効率 (単位:%)
ネコカリシウイルス (株名:F9) ※ヒトノロウイルス代替	5 min.	> 99.98
	30 min.	> 99.81

表 2: 本試験結果の総括

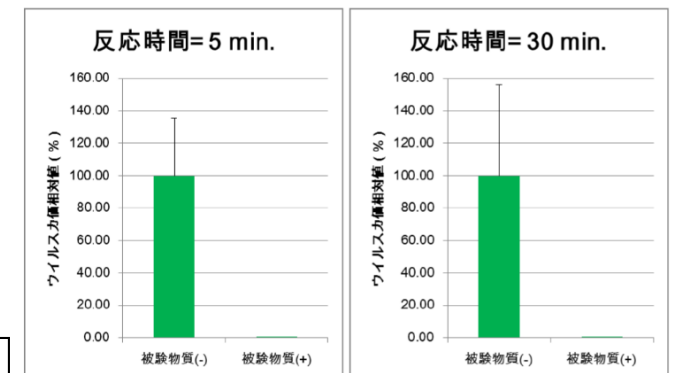


Fig.2: ネコカリシウイルス不活化試験結果 ~ グラフ ~
グラフ縦軸は各反応時間における被験物質非添加群 (陰性対照群) の感染性ウイルスカラムを 100%とした相対値を示している。グラフのエラーバーは標準偏差を示しており、試験は N=2 (duplicate) で実施した。

實驗結果

在反應時長為 5 分鐘及 30 分鐘的情況下, 可以確認檢測物質“生物牙膏”有使諾如病毒的感染病毒失活的效果。

※刷牙牙膏使用的是“生物牙膏”